

道内観光産業経済効果調査の推計結果について (新型コロナウイルス感染症が及ぼす北海道観光への影響について)

公益社団法人北海道観光振興機構(会長 小金澤 健司)では、令和3年度に実施した道内の観光産業経済効果調査(北海道来訪者満足度調査の中で実施)の推計結果の確定版をこのほど取りまとめましたので、お知らせします。

【令和3年度・北海道観光産業経済効果調査推計結果(確定版)】

1. 概要

- 総観光消費額は 5,350 億円と前年度の 4,354 億円から 996 億円増加(+22.9%)したものの、コロナ禍前の令和元年度 1 兆 5,159 億円からは 9,809 億円の大幅な減少(▲64.7%)となり、依然として厳しい状況にある。
- 総観光消費額が前年度対比増加したことに伴い、経済波及効果(生産誘発額)も 6,926 億円と前年度 6,364 億円から 562 億円増加(+8.8%)したが、令和元年度の 2 兆 1,910 億円からは 1 兆 4,984 億円減少(▲68.4%)した。
- 観光産業における雇用誘発効果(新規)は、実態経済(新型コロナウイルス感染拡大)において雇用調整が進んでおり参考値とした。(令和3年度は約 6.0 万人、前年度は約 6.2 万人)

2. 新型コロナウイルス感染拡大による影響について

今回調査を実施した令和3年度は、依然として新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言やまん延防止等重点措置といった行動制限の発令が全国各地で繰り返されていた。

そのような状況において、総観光消費額や経済波及効果は令和2年度と比較するとやや改善したものの、コロナ禍前の令和元年度からは遠く及ばない結果となった。

観光産業における消費活動は、道内のサービス業や宿泊業、運輸、商業、食品製造業など様々な産業に幅広く波及しており、同年度の総観光消費額の大幅な減少は、地域経済にとって大きな損失であると言える。

※本調査は、令和3年度北海道観光入込客数調査報告書(令和4年9月北海道経済部観光局発表)の公表値を参考に、当機構が令和4年3月にまとめた調査結果を再精査した結果です。

※令和3年度北海道来訪者満足度・観光産業経済効果調査の全体版(令和4年3月時点)については、観光機構の公式サイト「北海道の観光統計データサイト」にも公表しています。また、「北海道の観光統計データサイト」では過去の同調査の調査データを表やグラフで公表しています。

<https://statistics.visit-hokkaido.jp/pdf/>「北海道来訪者満足度調査報告書」
<https://statistics.visit-hokkaido.jp/graph/#category--economic-spillover>
「経済波及効果の推計」

※詳細については別紙のとおりです。

<調査の概要(令和3年度北海道来訪者満足度・観光産業経済効果調査)>

- 目的:道内における観光による消費規模の実態及び観光消費がもたらす北海道経済への波及効果を分析し、観光産業の活性化及び(観光)振興を図るための基礎データとして活用する。
- 方法:道内主要観光地及び交通拠点(103 か所)で面接聴取。(※道内、道外客合計 4,034 サンプルを取得。内訳:道内客(1,882)、道外客(2,152)。新型コロナ対策のためQRコードによるWEB 回答も導入)
- 項目:プロフィール(居住地、年代、職業、年収)、旅行形態(日程、人数等)、旅行内容(消費額、観光ルート等)、期待度・満足度等。
- 時期:4期に分けて調査(1期:令和3年6月~7月、2期:7月~8月、3期:10月~11月、4期:令和4年1月~2月)

《上記の内容で調査を実施した結果、下記の消費額を算出》

消費額(一人当たり単価、内訳:交通費、宿泊費、飲食費、買物代、娯楽等サービス費、その他)
単位:円

年度	道内客		道外客		外国人
	日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客	
R3年度	6,085	27,826	16,044	81,574	-
R2年度	6,012	26,985	67,733 ※		-
増減	73	841	-	13,841	-
参考:R元年度	8,120	32,594	70,733 ※		138,778

注1)訪日外国人観光客は調査期間において入国制限中のため、調査未実施。

注2)本消費額単価は、アンケートで回答を得た単純集計による消費単価ではなく、パッケージ料金に含まれる飲食、宿泊、交通費などの道内留保分も含めた「経済波及効果(推計)」に用いる最終投入単価の数値である。

※令和2年度、令和元年度の道外客については日帰り・宿泊の区別をしていない。

① 総観光消費額

～前回調査(令和2年度)との比較。参考としてコロナ禍前の令和元年度も記載

■道内観光総消費額		年度	道内客				道外客			外国人	合計
			日帰り客	宿泊客	その他	合計	日帰り客	宿泊客	合計		
A	年間観光客数 (推計) 単位:万人	R3年度	2,690	544	90	3,324	11	250	261	0	3,585
		R2年度	2,545	464	90	3,099	-	211	211	0	3,310
		増減	145	80	0	225	-	-	50	0	275
		R元年度	3,629	972	268	4,869	-	-	607	312	5,788
B	道内観光消費額単価 (推計用調整値)1人 単位:円	R3年度	6,085	27,826	15,853	-	16,044	81,574	-	0	-
		R2年度	6,012	26,985	15,853	-	-	67,733	-	0	-
		増減	73	841	0	-	-	13,841	-	0	-
		R元年度	8,120	32,594	15,853	-	-	-	70,773	138,778	-
C	道内観光総消費額 (A×B) 単位:億円	R3年度	1,637	1,514	143	3,293	18	2,039	2,057	0	5,350
		R2年度	1,530	1,252	143	2,925	-	1,429	1,429	0	4,354
		増減	107	262	0	368	-	-	628	0	996
		R元年度	2,947	3,168	425	6,540	-	-	4,296	4,323	15,159
構成比(%)		R3年度	30.6%	28.3%	2.7%	61.6%	0.3%	38.1%	38.4%	0.0%	100.0%
		R2年度	35.1%	28.8%	3.3%	67.2%	-	32.8%	32.8%	0.0%	100.0%
		R元年度	19.4%	20.9%	2.8%	43.1%	-	-	28.3%	28.5%	100.0%

※四捨五入の関係で各項目と合計額が一致しない場合がある。

※年間観光客数の推計方法について

北海道経済部観光局が令和4年9月に公表した「令和3年度北海道観光入込客数調査」等を用いて試算。

※道内客の「その他」について

道内居住者が道外や海外へ旅行する際に関するものとして計上。前年度と同水準と推定した。

② 観光による経済波及効果

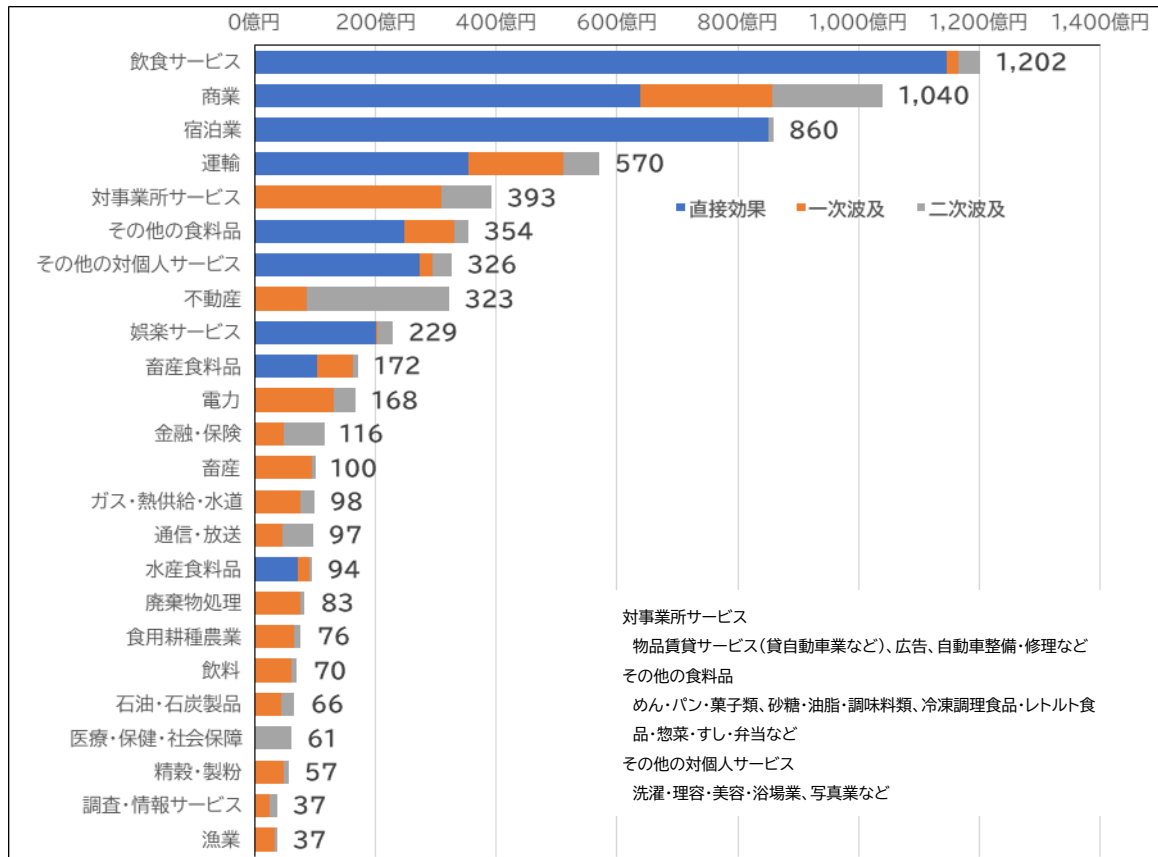
～前回調査(令和2年度)との比較。参考としてコロナ禍前の令和元年度も記載

(1) 観光総消費額 5,350 億円による経済波及効果の推計結果

項目/年度	令和3年度	令和2年度	前年度比(%)	令和元年度
経済波及効果 (生産誘発額)単位:億円	6,926	6,364	108.8%	21,910
新規雇用者誘発数 (単位:万人)	6.0	6.2	96.7%	21

※経済波及効果(生産誘発額)は、観光消費による直接効果 3,887 億円(道内客 2,353 億円、道外客 1,534 億円)と、第一次間接効果 1,915 億円(道内客 1,156 億円、道外客 760 億円)、第二次間接効果 1,124 億円(道内客 688 億円、道外客 436 億円)の合計額からなる。※四捨五入の関係で各項目と合計額が一致しない場合がある。

(2) 産業別に見る観光消費の生産波及効果(6,926 億円)



観光消費が道内の産業別においてどれだけの経済効果をもたらしているかを示すグラフである。(平成27年度北海道産業連関表(北海道開発局)64部門表を用いた推計値。金額の大きい順に並べ替え、上位24部門を掲載)

飲食サービスの1,202億円を筆頭に、商業1,040億円、宿泊業860億円、運輸570億円と続く。

64部門のうち13部門において100億円以上を計上していることに加え、多岐にわたる産業に幅広く経済効果が波及していることが分かる。

またコロナ禍前の令和元年度に計上した総観光消費額1兆5,159億円は、北海道の地域内総生産(GDP)の8%弱を占めており、観光産業がいかに北海道経済を支える基幹産業となっているかを物語っている。

このことから、令和元年度と比べ令和3年度の総観光消費額が1兆円近く減少したことは道内経済にとって大きな損失と言え、令和4年度以降道内観光需要の早期回復が待たれるところである。

令和4年10月21日

H
T
O 北海道観光振興機構

※道政記者クラブ、経済記者クラブに投げ込みしております。

<報道関係の皆様へのお願い>

標記内容について、貴媒体にてご掲載いただけましたら、お手数ですが、下記事業担当者もしくは広報用メールアドレスまで掲載紙面等を共有いただきますと幸いです。

<本件に対するお問い合わせ>

(公社)北海道観光振興機構 総務企画本部 政策・マーケティング部
(堀、生川) n.hori@visithkd.or.jp
札幌市中央区北3条西7丁目1-1緑苑ビル1F
電話:(011)231-6736

<その他広報に関するお問い合わせ>

広報用メールアドレス press@visithkd.or.jp

